

認定介護福祉士養成研修

科目『認知症のある人への生活支援・連携』事前課題No. 4

【事前課題の内容】

自職場の事例を用いて本人とのやりとりを「プロセスレコード」に記入し分析して考察する。

【事前課題のねらい】

プロセスレコードを通して、認知症のある人のBPSD（認知症の行動・心理症状）を悪化させる要因・誘因に働きかけ、予防・緩和する方策について理解を深める。

【事前課題の方法】

＜事前提出するもの＞ ワークシート2)～ワークシート5)

※1部提出 + コピー(1部)を各自講義当日に持参すること。

＜留意事項＞

- ・認知症のある人を1名設定し、ワークシート内にある項目を記入してください。その後記入した「プロセスレコード」について分析・考察して下さい。
- ・臼井啓介氏の「プロセスレコード」も参考にして取り組んで下さい。
- ・認知症のある人のBPSD（認知症の行動・心理症状）の場面・状況でのやり取りが望ましいですが、難しい場合は認知症のない人とのやりとりでも構いません。なお個人情報の取り扱いには十分留意してください。
- ・事例は個人情報が特定できないように、修正加工してください。
- ・事例は研修の中で教材として使用し、研修参加者等と共有されますのであらかじめご了承ください。

【事前課題の提出期限】 令和7年7月4日（金）

*ファーストステップ研修科目「コミュニケーション技術の応用的な展開（全般）」で使用した様式と同じものになります。ファーストステップ研修で学んだ内容を踏まえ、今回の認定介護福祉士養成研修科目「認知症のある人への生活支援・連携」においてより深く学ぶことになります。その点に留意して様式を活用して課題に取り組んでください。